

【1回目登壇】

こんにちは。維新の会の辻信行でございます。

第21回定例会におきまして、質問の機会をいただきありがとうございます。先輩、同僚議員の皆さまにおかれましては、しばらくの間、ご清聴のほど、よろしく願いいたします。

早速ですが、質問に入らせていただきます。

まず、いわゆる私道（わたくしみち）に設置された街灯への費用助成についてお伺いします。本市の「街路灯設置基準」では、市が設置する道路照明の対象を「市道であること」としています。いわゆる私道（わたくしみち）については、地域の安全を目的としているものであっても、市の設置対象になっておらず、多くが自治会など地域団体によって設置・管理されている状況にあります。

市が設置した街路灯については、市の事業として平成30年度にLED化が行われましたが、地域団体によって設置・管理されているものについては、市が「街路灯設置基準」に掲げる「明るい町づくり」に寄与しているものであっても、維持管理が地域団体に完全に委ねられ、市からの費用助成もない状況です。

お伺いします。

いわゆる私道（わたくしみち）に地域団体が設置している街灯について、市はどの程度把握されているのでしょうか。

自治会などの地域団体によっては、費用負担も影響し、老朽化した照明器具等の更新が行えていないといった状況も耳にします。

神戸市においては、市民と市が一体となり「明るいまちづくり」を進めていくため、いわゆる私道（わたくしみち）において地域団体が設置・管理している街灯への助成制度を設けています。助成内容は、電気料金や電球代などの維持管理費、また照明器具等の新設・取替経費となっています。

ぜひ、本市においても神戸市と同様の助成制度を早急に創設し、「明るい町づくり」を市民とともに進めていくという姿勢を示していただきたいと思いますが、市の見解をお聞かせください。

次に、園田西武庫線藻川工区の藻川にかかる橋の通行についてお伺いします。

藻川工区の工事は、当初の予定から遅れ、令和6年度の開通を目指して工事が進められています。一方で、園田東生涯学習プラザは、令和3年4月の供用開始の予定となっており、東園田地域からも藻川に新しい橋をかけることにより、その利便性を図ることができるものとして、移転の説明がなされたと聞いています。移転の計画当時、東園田地域の住民にどのような説明をされたのか、お聞かせください。

藻川工区の工事が遅れていることにより、令和6年度の開通までは新しい橋も通行ができないと聞いています。こういった状況では、来年4月に生涯学習プラザが供用開始されても、その後3年

間、東園田地域からは大変行きづらい状況になります。

お伺いします。

藻川工区の工事の遅れについて、県からどのような説明を受けているのでしょうか。また、住民へはどう説明をされる予定ですか、お聞かせください。

藻川工区の現場を見ると、藻川にかかる新しい橋自体は完成していると思われます。自動車の通行が難しい状況でも、何とか歩行者や自転車が通行できるよう、市も対応する必要があるのではないのでしょうか。

お伺いします。

園田東生涯学習プラザの供用開始に合わせて、藻川にかかる新しい橋を、歩行者や自転車が通れる状況にできるよう、市も最善を尽くすべきだと思いますが、見解をお聞かせください。

次に、中学校給食についてお伺いします。

中学校給食センターの工事が、いよいよ来月から着工の予定になっています。新たに「尼崎市中学校給食運営会議」も設置され、先日、その第1回目の会議が開催されたところです。

お伺いします。

先日の会議では、どのような内容が議論され、委員からどういった意見が出たのか、その状況をお聞かせください。また、今後の開催頻度や予定されている内容についてもお聞かせください。

前回6月議会において、市内産の米の活用について提案したところ、第1回目の中学校給食への使用も含めて、具体的な活用について検討していきたいといった答弁をいただきました。現時点での検討状況はいかがですか。

第1回目の記念給食や市内産米の使用回数、市内産食材の活用についても、積極的に運営会議でも検討して進めていっていただきたいと思いますが、いかがですか。

以上で、1回目の質問を終わります。

【2回目登壇】

答弁をいただき、ありがとうございます。

次に、コロナ禍における市内医療機関の現状についてお伺いします。

新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、医療従事者の感染リスクとともに軽症患者の受診控えも発生していると言われていています。感染防止策のための支出の増加と患者の減少による収入の減少で、経営状況が厳しくなっている医療機関もあると耳にします。国の経済対策の対象には医療機関も含まれておりますが、今年7月には岡山県で診療所が廃業に追い込まれたとの報道もあり、市内の医療機関の状況が気になるところです。

お伺いします。

医療機関も対象に含まれる国の経済対策について、市内の各医療機関にはどのように周知がなされているのでしょうか。また、国や県の経済対策等において、比較的小規模な経営となっている診療所などに対し、給付金などの申請のためのサポートは行われているのでしょうか。状況をお聞かせください。

市内には多くの診療所があり、市民の健康を守る大切な存在となっています。そういった診療所などが突然の廃業に追い込まれると、地域の医療に大きな影響が出てしまいます。岡山県の例のように、新型コロナの影響により市内で廃業の恐れが生じている医療機関はないのでしょうか。把握している状況があればお聞かせください。

本市の休日夜間急病診療所は、市から補助金も支出され、地域の医療を支えています。多くの患者で込み合っていることが多く、「待合状況」がパソコンや携帯電話で確認できるシステムも導入されています。医療機関の厳しい経営状況が報道されて以降、何度かその「待合状況」を確認してみましたが、「0人待ち」「1人待ち」とそれほど待っている患者がいない様子が表示され、患者の減少が懸念されました。

お伺いします。

コロナ禍において、これまでの数年間の状況と比較し、休日夜間急病診療所の受診患者の数などに変化は生じているのでしょうか。また、収支面も含めて運営状況はどのようになっているのでしょうか。状況をお聞かせください。

最後に、保育士の人材確保についてお伺いします。

新型コロナウイルスの感染拡大は、あらゆる分野に大きな影響を及ぼしていますが、保育士の人材確保においても例外ではありません。以前から、保育士は人材確保が難しい状況にありましたが、事前の研修や、現場での実習も難しくなっている状況において、その影響が心配されます。

お伺いします。

市内の保育施設において、新型コロナウイルスの影響により、保育士の確保に大きな問題が生じている状況はありませんか。公立・私立それぞれ把握している状況についてお聞かせください。

昨年に引き続き、今年も8月に本市主催の「保育士就職フェア」が開催されました。

昨年度は、参加法人は44法人、来場者数は31人で、来場者の少なさから、保育士確保にどの程度の効果があるのか、懸念される法人の声も聞いているところです。

昨年9月の一般質問において、開催場所について、参加法人から「より利便性の高い場所で開催し、来場者を増やして欲しいという要望もあり、次年度に向けた課題として検討していく」といった答弁がなされましたが、今年度は中小企業センターを会場とし、その点は改善がみられました。コロナ禍において、大変な状況での開催だったと思います。潜在保育士の確保に向けても、懸命に取り組んでいる中での、開催状況についてお伺いします。

昨年度の「保育士就職フェア」に来場された31人のうち、実際に市内の保育施設に就職された方は、何人いましたか。また、今年度の参加法人数や、新卒・潜在保育士別の来場者数はどのような状況であったかお聞かせください。さらに、参加した法人や来場者の感想・意見など、今後の改善につなげていくために把握した参加者の声があればお聞かせください。

以上で、2回目の質問を終わります。

【3回目登壇】

答弁をいただき、ありがとうございます。

私道（わたくしみち）の街灯への助成については、ぜひ神戸市の事例も参考に早急に検討を進めていただきたいと思います。

藻川にかかる新しい橋については、令和3年4月に向け、県と調整をしていただき、歩行者と自転車の通行を可能にしてください。

中学校給食への市内産食材の活用については、引き続き前向きに検討をお願いします。

以上で、私の質問を終わります。

ご清聴ありがとうございました。